



タケックス・ラボ社長

きよおか
清岡久幸さん
(46)

証明された抗ウイルス効果持続

『タケックスクリーン』は孟宗竹から抽出したエキスをを使用した環境衛生用製剤。

一般的なウイルス用消毒剤に使われるエタノール製剤が、数分間しか抗ウイルス効果が持続しないとされているのに対し、7月下旬、タケックスクリーンを乾燥させたあとも、効果が30日間持続することが鳥取大学との共同研究で確認された。

「鳥取大学の鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター（伊藤壽啓センター長）との共同研究で実証できました」と製品の優位性に自信を深めている。

清岡さんは、父が竹工房を営んでいたことで、幼いころから竹に囲まれて育った。

「竹はウイルスや腐敗菌、食中毒菌などの抑制効果があることを小さいころから肌で感じていました」という。

1986年にO157による集団食中毒が堺市で発生。当時、研究を依頼していた北里大学で、竹抽出エキスの抗菌効果などが認められ、注目された。

2002年、フードテックス（現タケックス・ラボ）を大阪府吹田市に設立し、竹を使った安全な食品添加物や抗菌剤、建材な

どの商品開発を始めた。

今年5月には新型インフルエンザが流行。タケックスクリーンの販売は昨年比50%増加、多くの受注残も抱えた。「企業の備蓄用にも採用されました。今回、実証された持続性で一段と弾みがつきます」

10月初旬にOEM（相手先ブランドによる生産）供給で森下仁丹のメディケア除菌・消臭スプレーとして販売される。

「業務用に加え、一般消費者にも浸透させたい」と期待する。

（清水孝司）

仕事人